

## □高演色性について

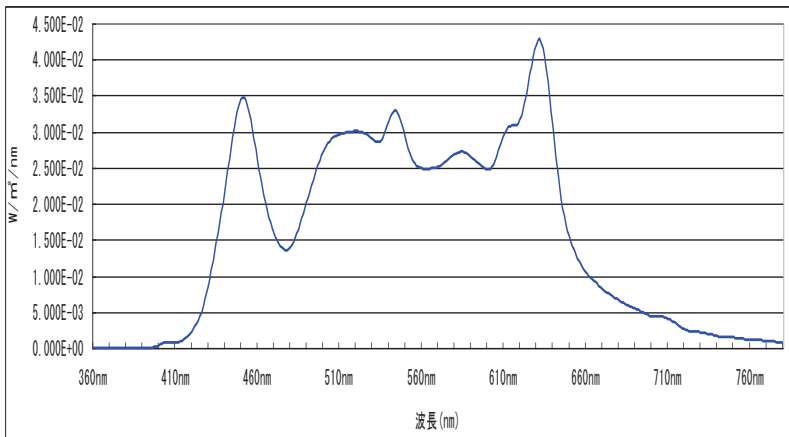
一般的な、青色LED+複数の蛍光体(YAG系などが主流)によって実現される一般的な高演色LEDにおいては、使用する蛍光体の量子収率やエネルギー移動に伴う損失などのために演色性をあげると大きく効率が落ちる問題や、単なる高演色性=使用するシーンにおける最大の見栄えを実現できる色合いとは限らないと言うことがあります。

当社は、この方式とは異なるマルチカラーチップの適宜混合による高演色性(最大Ra>98)を実現し、しかもその電流バランスを変化させることで、一台であらゆるシーンにおいて、

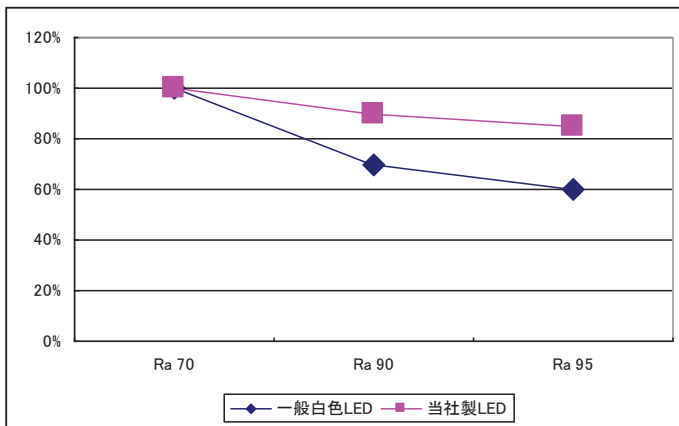
**「高見栄え性」**を実現しました。

我々の大型LED投光器はあらゆるシーンを鮮やかに再現いたします。

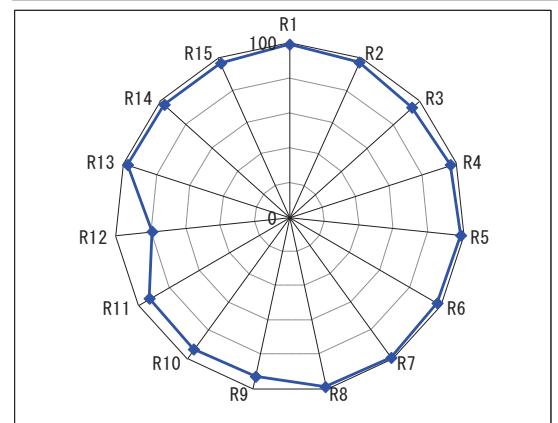
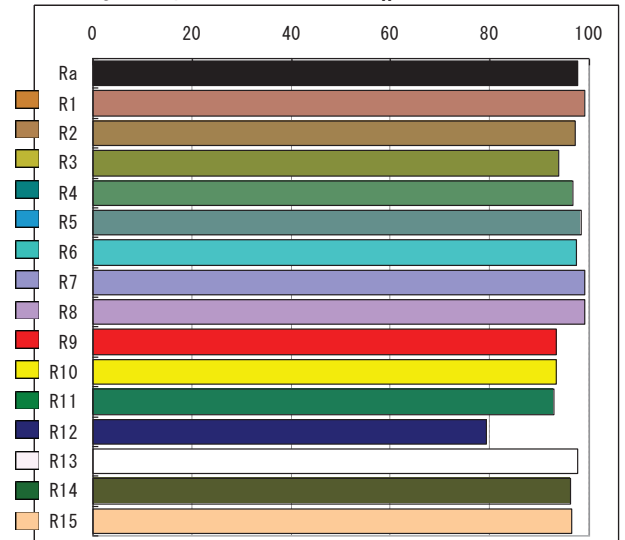
Ra>98を実現した本LED投光器の発光スペクトル



Ra>98を達成する技術を持ちながら、あらゆるシーンで最も良い見栄えを達成できるLEDは当社しかありません。



RaおよびR1~R15の値



一般的な白色LEDにおいては、同一製品でRa70のものとRa90のものでは、Ra90のほうが25~30%効率が落ちてしまいます。

ところが当社LEDに於いてはRa95でも15%、Ra90においては**10%**程度効率が落ちるだけであり、省エネ性や器具の温度上昇などに大きなアドバンテージがあります。

**我々の開発した夜の太陽は鮮やかにあらゆるシーンの見栄えを実現します。**